

●● 校訓 (より正しく・より豊かに・よりたくましく) ●●

令和8年度 帯広市立帯広小学校 学校便り

# 帯小の窓

開校 130 年の歴史と伝統の上に立つ これまでも これからも

NO. 9 令和8年6月15日 発行 校長 黒島 俊一

～ 新・学校教育目標 ～  
夢をもち みんなで高め合い  
未来をひらく 帯小っ子

- おおきな心で
- びしっと学び
- ひろがる仲間と
- しっかり行こう
- よい笑顔の
- うきうき帯小っ子

(令和8年4月1日制定)



## 開校130周年記念帯広小学校大運動会終了

テーマ「夢がつまった130年のバトンを未来へ」ご声援ありがとうございました

「夢がつまった130年のバトンを未来へ～一人ひとりが自ら進んで協力しよう～」をテーマに、子ども自らが「みんなで高め合い」、「ひろがる仲間」と「しっかり行こう」、「うきうき」楽しい、記念すべき運動会になりました。

全校児童が146名と少なくはなっても、開校130周年の歴史と伝統の重みを感じながら、互いに「おおきな心」で、互いにつながり頑張り抜く姿に大いなるパワーを感じ、全ての子どもたちが最後まで走って、踊って、大声で応援して、笑顔で取り組む姿は圧巻でした。

当日は肌寒い曇りの天候でしたが、開会式では、「太陽はいつもみなさんの上で輝いている、雲の上はいつも晴れという話」で子どもたちを励ましながら、力強い1年生の選手宣誓から始まり、全校みんなで元気を出して、力をあわせ、励まし合って頑張り抜く子どもたちの3つのよさを感じました。

- ① 力いっぱいあきらめずに最後まで頑張ったこと  
練習してきたこと、知恵を絞って考えてきたことを生かそうと最後まで頑張りぬきました。
- ② 協力したり心をつなぐにあわせ応援したり友達と仲良く取り組んだこと  
互いのがんばりをたたえ合い、応援し合う中で勝ち負けを超えた喜び、絆を感じていました。たてわり競技での声を掛け合う深いつながりも。
- ③ 自分の役割や責任を果たそうとしていたこと  
競技はもちろん、高学年は係の仕事もこなし、運動会を自分たちでつくりあげ、楽しんでいました。

頑張った全校146名のみなさんに拍手を送ります

お子さんの姿、学校の姿はいかがだったでしょうか。天候が不安定な中、お忙しい中、ご来場いただいた保護者・地域のみなさんの最後までのご声援に感謝いたします。



写真上から順に。たてわり競技フィナーレ、団体競技(高学年、低学年、中学年)、帯小ソーラン前の緊張の6年生、運動会を支える放送室、それぞれの様子から。

## もう一つの運動会から

「アフター運動会」という言葉はないのですが、子供たちの頑張りの後の撤収、後片付けは大きな作業です。今年はテント撤収等をPTA ボランティアの役割から外したものの、たくさんの保護者のみなさんが後片付けに協力いただきました。たくさん的人数でスムーズにできましたことをお礼申し上げます。

学校再開の火曜日は、床に寝転びながら、机の脚についた泥落としに熱心に取り組む6年生の立派な姿も見られました。

準備、当日、後片付け等、しっかり成し遂げた子供たちをはじめ様々な力を更に大きくしなやかに、「夢をもち みんなで高め合い 未来をひらく 帯小っ子」を目指し、全教職員で取り組んで参ります。引き続きのご支援をお願い申し上げます。



写真左上 机の脚の土汚れは手強いのです。ていねいに拭き取ります。  
写真右上 外トイレは、シルバー人材センターの大島さんが長年本校を担当され、いつもきれいに掃除をしてくれています。運動会前日夕方にも作業をされていて、おかげさまで、一年で最も外トイレが利用される運動会で、みなさんに気持ちの良いトイレを利用頂きました。いつもありがとうございます。

「おび学」をはじめ、本校ではたくさんの外部の方の力をお借りした「出前授業」が行われています。過日、昨年度に引き続き帯広税務署の桃野広報広聴官を講師に、6年生で租税教室が行われました。

アニメ等を視聴しながら、税金の役割の学びのほか、子供たちが学校で学ぶことができるために一人当たり年間100万円を超える税金が投入されていることなど、今年も具体的に分かりやすい説明を、丁寧にいただきました。

授業後は恒例の「みほん」の1万円札1億円をもつ体験です。およそ10キロもあるその重さを子供たちは体感していました。

この後も、食育、翔陽中学校保体教諭による体力テスト授業、市清掃事業課による環境学習授業など、教育効果を高める興味関心をそそる楽しい授業が目白押し、おもしろい学びが展開されていきます。

## 出前授業は今年も盛んに租税教室から



## 今年も帯広小学校の研究は熱い！

毎年9月に本校では教育研究発表会(授業公開の研究会)を開催していますが、今年も9月18日(金)に34回目の開催を予定しています。

本校では年間を通じて研修を進め、全学級が公開すること(通年研修・毎年全学級公開)を合言葉に、豊かな学びをつくる教師の授業力を上げて、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を目指しています。

5月の学校教育指導訪問の機会には、6年生(担任・研究部長 多治見教諭)の国語の研究授業で道教委や市教委から指導助言を頂きました。

子供の学びとしては、子供自身の主張(例 給食の残食減らすために持ち帰りをさせてはどうか、昼休みの時間をしっかり確保してはどうか 応援合戦を復活してはどうか ほか)を支える、自身が調べたデータなどをもとに、自身の主張を支える「事例」をあげ、説得力をもたせながら説明する展開。説明の相手は校長、教頭、ほか担任外の教員に対してです。

どの子供の主張もしっかりしていて、誰もが納得できるように「アドバイス」する教師にもなかなか難しいミッションでした。自分の考えを根拠をもって主張する「学びのおもしろさ」を体感することができました。



## お知らせとお誘い

### 1 6月19日(金) 3, 4校時 開校130周年記念事業「文化芸術鑑賞 あらしのよりに」を見に来られませんか。

・開校記念事業として位置づけている文化芸術鑑賞が本校体育館で行われます。(上演団体は、「総合劇集団 俳優館」(名古屋市)。演劇鑑賞は、毎年6年生の劇団四季の公演が恒例ですが、全校で鑑賞することはなかなかないことです。保護者、地域のみなさんもぜひ一緒に観覧されませんか。お待ちしております。(事前申込は不要です)

### 2 お子さんの成長や発達が相談できます。

・お子さんの様子(学習や生活、対人関係ほか、学校生活や家庭生活)で気になることはありませんか。  
・お子さんへの家庭での関わり方や望ましい成長、適応等の行動や問題解決に向けて、一緒にお話ししてみませんか。  
・ご希望によっては、学級担任のほか、管理職や専門のコーディネーター3名(山本、鈴木、小原各教諭)でお話をうかがえますし、ご指名でほかの教職員も対応できます。また、毎週火曜日には教育委員会から「こころの教室相談員」(和田 縁(ゆかり)氏)が来校しています。お気軽にご相談下さい。(帯広小学校 TEL.22-1424)